

**公益財団法人  
神奈川県社会復帰援護会の  
H.Pアドレスが変更になりました**  
kengokai.sakura.ne.jp

engokai news  
**援護会ニュース**  
kengokai.sakura.ne.jp/ 2015.7.25

公益財団法人 神奈川県社会復帰援護会

本部事務所  
〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町41番7号  
TEL(044)751-2756 FAX(044)789-9749  
地域活動支援センター オアシス井田  
〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町41番7号  
TEL(044)789-9743 FAX(044)789-9749  
地域活動支援センター バンブーハウス  
〒213-0014 川崎市高津区新作6丁目16-23 フォーブル新築  
TEL・FAX(044)852-0660  
精神障がい者就労移行支援センター かわさき [かわさき@Job]  
〒211-0042 川崎市中原区下新城2-1-25 ヒロヤマビル2F  
TEL(044)777-1820 FAX(044)750-8540

# 5.27 定例理事・評議員会開催

今年も五月二十七日(水)その中で、今年度オアシスに公益財団法人神奈川県社会復帰援護会の定例理事・評議員会が、オアシス井田が理事になったことは注目会議室で開催されました。

平成二十六年年度の決算報告が税理士の伊藤先生より詳細に説明され、問題ないことを全員で承認しました。

今年度は、評議員・理事の改選時期に当たり、新評議員が選定された後、新評議員により新理事が選任され引き続き渡辺敏夫氏が代表理事の重責を担うこととなりました。

その他に新経理規定の作成や、資格手当・役職手当の見直し、給与規定の一部見直し等が決議されました。尚、昨年からの短時間就労

より一層働く現場からの意見を重視し、働きやすい環境作りをする事により、当会の定款第三条というところの「精神障がい者等の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図る」ことがスピーディーに出来る様にとの意向に基づいたものです。各施設長により一層の奮闘が求められています。

十年にわたる齋苑の就労援助事業を経験することから「短時間労働なら働くこ

## 第18回ボウリング大会 オアシス井田優勝!!

### バンブーハウスは準優勝

七月十五日(水)、天候にも恵まれ今年もタチバナボウルにおいて交流と親睦を目的に第十八回ボウリング大会が開催されました。

なんと、「オアシス」が団体戦で優勝、「バンブーハウス」が準優勝という結果でした。ワンツーフイニッシュ。「オアシス井田」は十四年ぶりの優勝で、中には涙を浮かべていたメンバーさんも！

援護会には嬉しい一日でした。



盛況だった今年の18回ボウリング大会



とが出来る」という人たちの援助はどうあるべきか? という問題提起を行政当局に理解してもらえなかった不十分性を反省し、今年度もう一度地域活動支援センターの申請をする事も確認しました。

六月五日(金)に第一回の職員研修がオアシス井田で開催されました。

喫緊の課題として「感染症にどう対応するのか?」「自傷行為にどう対応するのか?」ということがあり職員研修を行いました。

NPO法人日本中国看護師交流協会理事長・医療経営コンサルタントの郡司幸雄様を講師に迎え有意義な研修が行われました。

第二回目は、七月二四日(金)に、かわさき@Jobで開催致しました。

当会の苦情対応第三者委員でもある社会福祉法人セイワの障がい者福祉サービス事業所みやうちの施設長星野秀明様を講師にお迎えし「ご利用者様への接遇について」と題し研修が行われました。

「尊厳と人権の擁護」を掲げるとするならば、まずは「言葉遣い」「丁寧語(です。ます。体)を遣うこと」からの講演内容出席者全員が受け止めました。

## 第一回・第二回職員研修

と題し研修が行われました。



ブルーベリー狩り

バンブーハウスは地域で生活している障がい者の生活を豊かにする事、地域での障がい理解を進めることを目的に週2日お弁当を作ってお届けする配食作業をメインとして活動しています。

そのために《食》ということを大事に考え、プチトマト栽培、キュウリ栽培、



サクランボ狩り  
バスバイク

六月十二日(金)、オアシス井田では「山梨サクランボ狩り&ほうとうランチツアー」を実施しました。参加者はメンバーさん十二名や日頃お世話になっている講師の先生や運営委員の方々。サクランボ狩りでは三種の甘くて大きなサクランボをお腹いっぱい頂きました。

河口湖で名物のほうとうランチを楽しんだ後、バスではカラオケやじゃんけん大会で盛り上がりました。お腹も心も満たされた一日でした!

ブルーベリーを栽培しているところにお邪魔して、ブルーベリー狩りも楽しみながら《造る》苦勞もお聞きして来ました。私達の参考にしていきます。



人参栽培

人參栽培、らっきょう漬、梅ジュース作り等々を積極的に進めています。《造る》ことと《食べる》こと、それを真剣に考えながら生活能力が同時に向上できるように願っています。



精神障がい者就労移行支援センターかわさき

### 「かわさき@Job」ブログ紹介

こんにちは  
かわさき@Jobでは、先日はじめての「スーツデー」というプログラムを行いました。

普段はカジュアルな服装で通所しているメンバーさんですが、この日は「ビジネスフアッション」で来所していただきました。プログラムを告知したときは、「スーツ持っていないよ」「持つてるけど入らなくなっちゃうじゃないか」

「ビジネスフアッション」ユアルでもいいの?」など不安な声がたくさんありました(笑)、当日はみなさんそれぞれ工夫して、職場にふさわしい服装で来所してくれました。その後、ビジネスフアッションのまま「職場における好感度・好印象」についてグループディスカッションをしたり、プログラムの開始・終了時に起立して一斉に挨拶をするなど、一日をおしてピリッとした空気が漂っていました。

服装一つで、気持ちも大きく変わるものですね。中には、「なんだか場違いなところに来たみたい...」と、気おくれしてしまうメンバーさんもいましたが(実際、私も少

かわさき@Jobのブログより転載したものです。

し疲れました)、毎月のスーツデーを通して、次第に慣れていただければと思います。また、ほかの人の恰好を見て刺激を受け、自分の身だしなみを考えるとても良い機会になったと思います。

一気に全部そろえるのはなかなか大変ですが、「一か月に1アイテムずつ」など、楽しみながら増やしていくのも面白いのでは!?

今回のスーツデーも楽しみですね。

「仕事をしたいが自信がない、訓練を受けた」という相談をしたところ、主治医の紹介で@Jobを知り通所し始めたところ急遽ご縁があり四月頃、以前の会社の上役からのお誘いで今の会社と引き合わせて頂き七月付で就職。なんとか現在まで就労継続に至っております。



<http://kawasakiatjob.cocolog-nifty.com/blog/>

就労しての感想は、何よりも「案ずるより産むが易し」に尽きると思います。

@Job通所以前は「私なんか就職してもすぐ身体を壊してやめて『迷惑を掛ける』に違いない」と思い込んでおり、ハローワーク等通えても『応募できない』日々が続いておりました。

それが実際に就労してみると、週二日ペースだと大きな問題は出ずに働かせて頂いています。むしろ週二日ペースでは物足りなく、増やしてもらおうとして交渉中であるくらいです。

そして交流会、楽しく情報交換ができて良い会だったと思います。

働くのは(過度でなければ)楽しいものだというのが私も感じていましたが、他のOB・OGの話も聞いていた中で再実感した次第です。特にKさんは昔の知識が通用せず覚え直したと苦戦を口にしていましたもの、しかし口調は明るく、苦戦よりも楽しさが圧倒しているのだらうなあと想像させられました。

「仕事をしたいが自信がない、訓練を受けた」という相談をしたところ、主治医の紹介で@Jobを知り通所し始めたところ急遽ご縁があり四月頃、以前の会社の上役からのお誘いで今の会社と引き合わせて頂き七月付で就職。なんとか現在まで就労継続に至っております。

### オアシス井田の魅力(その③)



「ピアサポート」とは、

「同じような課題に直面する人同士が互いに支えあうこと」です。「お互いに支えあう」ということは、簡単なことのように思えますが、様々な経験をしてきた方が集まる場所で「支えあいましよう!!」と声をかけずぐにできるものではないです。ですが、少しずつ時間をかけて、素晴らしい「ピアサポーターさん」がたくさんいる場所になってきました。

そんな「ピアサポーターさん」の力を紹介します。まずは「傾聴力」。仲間からの相談に対して、親身になって、きちんと聞いてあげ、緊張していた様子で、右も左も分からない「未知なる物への恐怖」を抱いているたかも知れません。そういった物を現役メンバーが持つていて、そして私たちOB・OGが軽減する手伝いのできるのなら、恩返しとしてこんなうれしい機会はありません。また交流会の開催を心待ちにしています。

**オアシス井田のH.Pアドレスが変更になりました**  
[oasisida.sakura.ne.jp](http://oasisida.sakura.ne.jp)

今回は「共感力」。自分が体験していることであればその話を伝えたり、知らないことは丁寧に聞いたり、その時々に合わせて話を聞いています。「アドバイス力」。応援力もあります。「私はこちらにいる。」「こういう風に考えたらどう?」など、考え方や気分転換の方法と一緒に考え、教えて「聞いてあげるだけ」の応援もあります。時には叱咤激励もするし、全く違う話で気持ちを切り替えてあげたりもしています。

また、相談した方もきちんと聞き、素直に受け入れてくれるのも素敵なことだと思います。アドバイスの内容がちよっと難しいかな?というところだったりしても、相手がお互いのことを考えてくれたことに感謝を伝えていきます。そして何より、無意識で「ピアサポート」をしているところがある!!「誰かに言われて」「損得勘定で」なんてことはなく、当たり前にお互いを支え合っています。

今では、職員が声をかける前に「調子はどう?昨日寝られた?」なんて声かけも聞こえてきます。新しく通所し始めた方も、そんな先輩利用者を見て、自然にお互いを支え合っていく。そんなところが、オアシス井田の自慢の光景で、多くの「心のオアシスさん」がオアシス井田を支えてくれています。

よろしくお願ひします  
柳澤 菜月さん  
新職員紹介

出身:神奈川県 趣味:バレーボール、登山 はじめまして。4月よりオアシス井田で常勤職員として働いています。それまでは、大学で4年間社会福祉学を学んでいました。社会人として働くのも初めてですが、日々メンバーさんに様々なことを教えてもらっています。

### バンブーハウス

バンブーハウスでは、新しいリーフレットを作りました。 援護会のホームページからダウンロード出来ますのでどうぞ活用下さい。



かわさき@Jobのご利用者の状況 二〇一三年九月以降、ご利用者の総数が六月迄で総数三七人(男性二〇人・女性一七人)に達し、大手生命保険会社を初めとして就労した人数は、十四人です。 平均七ヶ月の在籍で就労に至っています。